

2022年(令和4年)
8/1号

第1985号

発行日/毎月2回(1日、15日)



まちだ

新型コロナウイルス
感染症特設ページ



発行 ● 町田市 編集 ● 政策経営部広報課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
市役所の代表電話 ● 042・722・3111
市役所の窓口受付時間 ● 午前8時30分～午後5時
ホームページ ● <http://www.city.machida.tokyo.jp/>
(記載がない場合の市外局番は(042)です)

町田市
ホームページ



今号の紙面から ● 3面 「まちだ未来づくりプラン」及び「町田市5ヵ年計画17-21」の取り組み結果



今も未来も大切に
町田市のSDGs



まちだの 生きものの み～つけた!



第1問

このトンボの名前はな～んだ?

トンボ
み～つけた

第2問

成虫で冬を越すトンボはいる?

トンボからみた生きものとの共生

市内ではいろいろな種類のトンボを見ることができます。今回は、トンボに詳しい日本トンボ学会会員の喜多英人さん(写真左)と、森林インストラクターの池田倫子さん(写真右)にお話を伺いました。

町田市には何種類のトンボがいるの?

66種類確認されています(2022年7月現在)。これは、東京都の市区町村別の記録としては八王子市に次いで2番目に多い数です。

トンボにとって理想的な環境ってどんなところ?

トンボの幼虫は水中生活を行います。種類によって好む水辺環境が異なり、多様性のある水辺環境があると、たくさんのトンボが見られます。

生きものとの共生の状況はどうなっているの?

私たちの活動は環境にさまざまな影響を与えてしまいます。そのため、開発や温暖化、外来種の拡大などによって棲みにくくなってしまった生きものもいます。多くの生きものと私たち人間がうまく共生できるよう、里山の保全やビオトープ(生きものが住んでいる樹林や草地、水辺など)の創出など新たな環境への取り組みも行われるようになってきています。

私たちにできる取り組みってどんなこと?

多様な生きものが暮らせる多様な環境を守ること。それにはまず、生きものを見て知り、好きになること。愛おしさが生まれると、自ずと生きものが住む環境も守りたいという気持ちが生まれます。市内の自然や生きものに触れてみましょう。

まちだのトンボ教室

もっとトンボを知りたい方のために、トンボの話と昆虫観察会を組み合わせたイベントを行います。皆さんのいろいろな疑問にもお答えします。

対象 市内在住の小学5年生以上の方
(小学生は保護者同伴)
日時 9月3日(土)午前10時～正午

会場 忠生公園
講師 喜多英人氏、池田倫子氏
定員 30人(抽選)

申込方法 8月2日正午～10日にイベントダイヤル(☎724・5656)またはイベシスコード220802Eへ。

2面でもっとまちだの生きものを探してみよう!

人口と世帯(外国人含む)

人口: 431,255人(男:210,768人・女:220,487人)(前月より34人増) / 世帯: 204,834世帯(前月より183世帯増)

2022年7月1日現在